

あなたが変わればエイズのイメージが変わる。

UPDATE HIV!

(令和5年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマ)

令和5年度有料老人ホーム集団指導

令和6年3月4日(月)

沖縄県保健医療部ワクチン・検査推進課

HIV/エイズってなに？

HIV: Human immunodeficiency virus (ヒト免疫不全ウイルス)

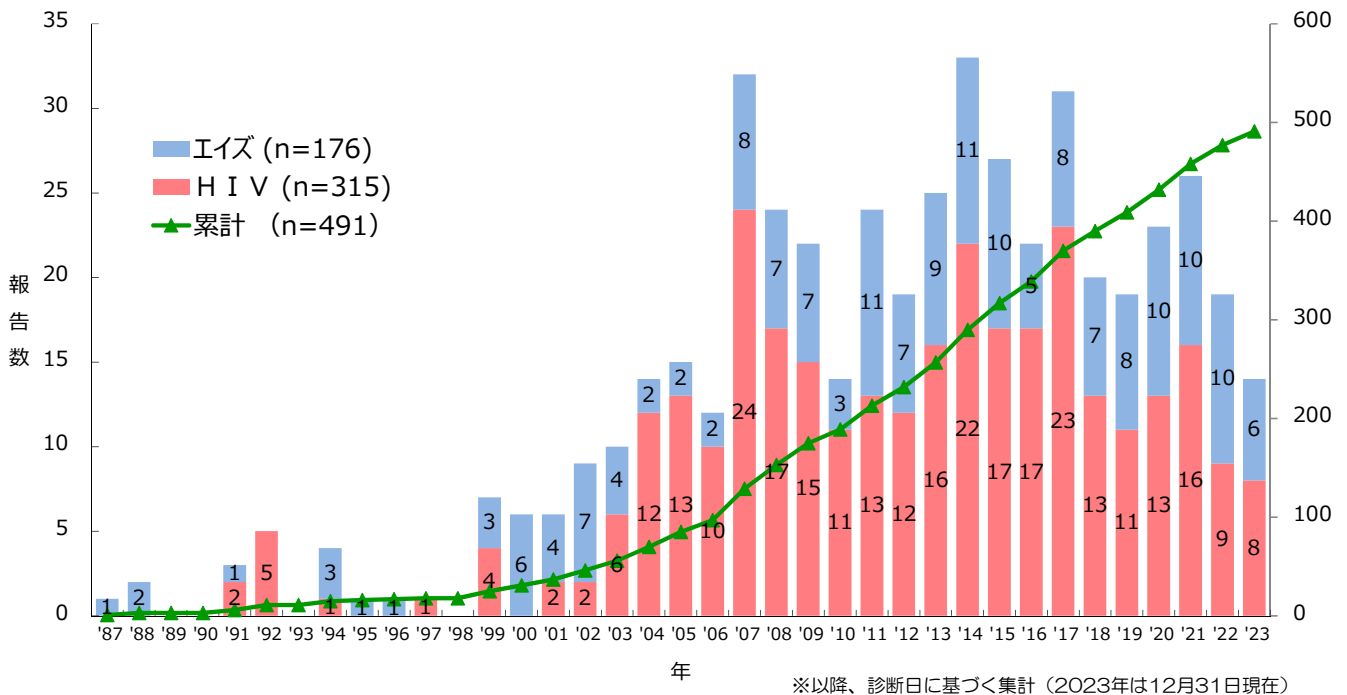
AIDS: Acquired immunodeficiency sndrome (後天性免疫不全症候群)

- ① HIV感染後**2～3週間**すると風邪のような症状が出ることがある
- ② **数年～10年程**は何も症状がない時期が続くが、体内ではウイルスが増殖し、体の免疫(病気に抵抗する力)が低下する
- ③ 普通の免疫状態では発症しない様々な病気に罹る他、顕著な食欲低下、下痢、低栄養状態、衰弱がみられる(**エイズ発症**)

沖縄県におけるHIV感染者/エイズ患者の発生状況

・2023年末までの累計は491件、2007年以後14～33件で推移

※ 国外、県外で感染が分かったHIV感染者/エイズ患者は含まれていない



沖縄県と全国の発生状況の比較

HIV感染者上位自治体

2020年(令和2年)		2021年(令和3年)		2022年(令和4年)	
自治体	人口10万人対	自治体	人口10万人対	自治体	人口10万人対
東京都	2.18	東京都	2.10	東京都	1.67
大阪府	1.01	沖縄県	1.09	福岡県	0.90
沖縄県	0.89	大阪府	0.93	大阪府	0.83
佐賀県	0.86	愛知県	0.77	高知県	0.74
愛知県	0.77	佐賀県	0.74	愛知県	0.63
山梨県	0.62	福岡県	0.59	沖縄県	0.61
高知県	0.57	香川県	0.53	栃木県	0.58
福岡県	0.57	群馬県	0.52	群馬県	0.47
兵庫県	0.51	神奈川県	0.48	島根県	0.46
三重県	0.45	静岡県	0.47	熊本県	0.41

2020～2022年の3年間人口10万人対の報告数で沖縄県は、HIV感染者数及びエイズ患者数が全国の中でも上位

直近の2022年では全国で
 ・HIV感染者は、6番目
 ・エイズ患者は、1番目
 となっている

エイズ患者上位自治体

2020年(令和2年)		2021年(令和3年)		2022年(令和4年)	
自治体	人口10万人対	自治体	人口10万人対	自治体	人口10万人対
大分県	0.70	沖縄県	0.68	沖縄県	0.61
沖縄県	0.69	福岡県	0.49	熊本県	0.52
東京都	0.57	岐阜県	0.46	東京都	0.38
岐阜県	0.45	東京都	0.45	茨城県	0.35
岡山県	0.42	徳島県	0.42	福岡県	0.33
徳島県	0.41	愛知県	0.40	鹿児島県	0.32
鹿児島県	0.37	佐賀県	0.37	愛知県	0.29
山梨県	0.37	大分県	0.36	広島県	0.25
山口県	0.37	青森県	0.33	埼玉県	0.23
神奈川県	0.35	岡山県	0.32	奈良県	0.23

令和5年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマ “あなたが変わればエイズのイメージが変わる。 UPDATA HIV！”

「エイズは原因不明で有効な治療がなく、死に至る病」？

⇒ ・ 治療継続でエイズの発症を抑えられる

・ 治療継続で体内のウイルス量を検出できないレベルに減らせる（＝簡単にうつらない）

・ 治療は1日1回1錠の服薬で済む（公費負担あり）

ようになっています

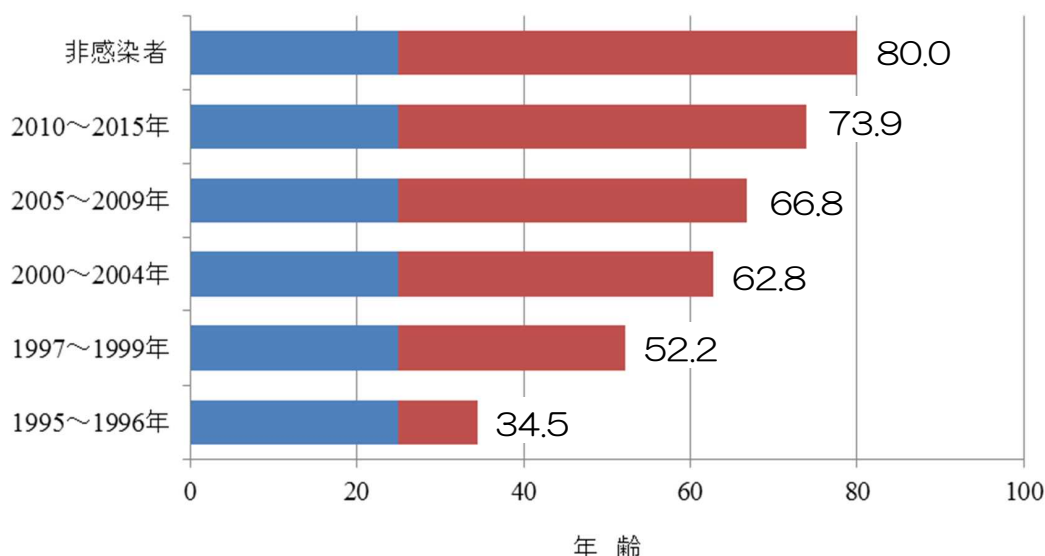
○HIVの治療の進歩により、HIV感染者の現状は変化しています。

○テーマには、“正しい知識をもってもらい、差別や偏見をなくしたい”

“エイズのイメージを変えたい”という思いが込められています。

治療の進歩で平均余命が延びている

25歳でHIV診断時の平均余命の推計



Lohse et al. Ann Intern Med. 2016;165(10):749-750.

介護福祉サービス等の支援が必要な年代へ

HIVにはどうやって感染する？

1. 性行為による感染

HIVは血液、精液、膣分泌液に多く含まれているため、コンドームなしの無防備な性行為をすると、粘膜や傷口を通して感染する

2. 血液による感染

注射器の共有使用、針刺し事故（感染者を刺した針を誤って刺してしまう）など

3. 母子感染

妊娠中の胎盤経由、出産時の血液、出産後の母乳

こんなことではHIVに感染しません



握手、軽いキス



咳、くしゃみ、汗、涙



洋式トイレの便座



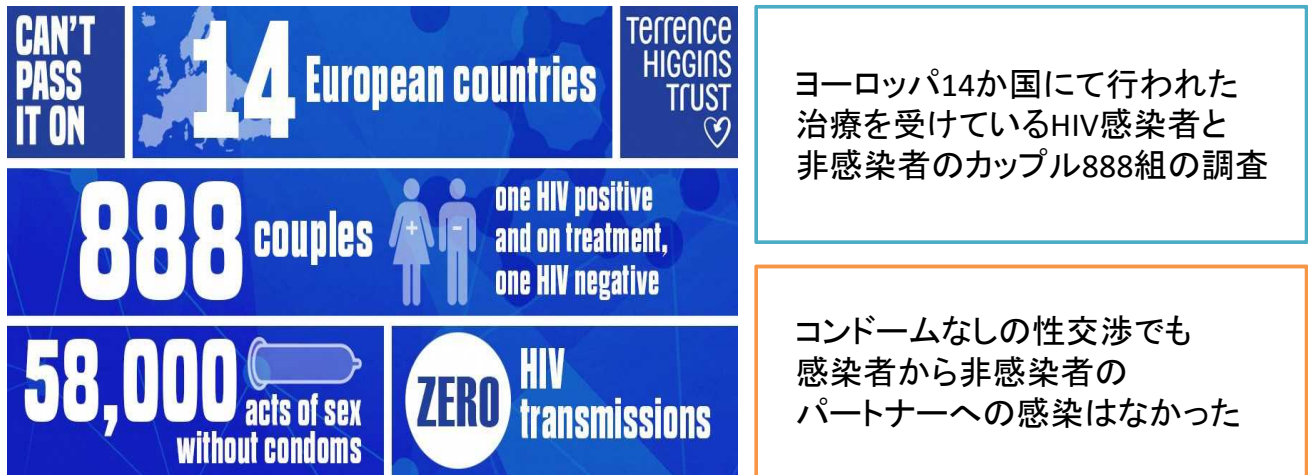
お風呂やプール



蚊に刺される

血液には直接触れない等の一般的な予防で十分対策可能

適切な治療を受けていれば 感染力はありません



PARTNER研究 (Rodger et al. JAMA. 2016;316(2):171-181.)

○治療を継続しウイルス量が抑えられていれば、他者へ感染させる力はとても低くなることがわかっています

高齢者介護施設で注意が必要な感染症

「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」（厚生労働省）
（2013年3月作成、2019年3月改訂）

- ①入所者および職員にも感染が起こり媒介者となりうる感染症
 - ・集団感染を起こす可能性がある感染症
 - 例) インフルエンザ、感染性胃腸炎、疥癬、結核 等
- ②健康な人に感染を起こすことは少ないが感染抵抗性の低下した人に発生する感染症
 - ・高齢者介護施設等では集団感染の可能性がある感染症
 - 例) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (MRSA)、緑膿菌感染症 等
- ③血液、体液を媒介して感染する感染症
 - ・基本的には集団感染を起こす可能性は少ない感染症
 - 例) B型肝炎、C型肝炎 等

改訂版からはHIV感染症は削除されています

B型肝炎とC型肝炎

- B型肝炎ウイルス（HBV）とC型肝炎ウイルス（HCV）はHIVと同じく血液で感染する
- 県内の感染者（発症していない人も含む）は、B型肝炎が約2万5千人、C型肝炎が約4千人と推定
- 針刺し事故時の感染率は、HIVが0.3%であるのに対して、HCVは3%、HBVは30%

標準予防策と感染経路別対策

標準予防策＝日常的対応

- すべての人（施設利用者、職員など）が何らかの病原体を持っていると仮定して日常的な対応を定めたもの
 - すべての血液・排泄物及び粘膜や損傷した皮膚を感染性があるものとしてみなし、取扱に注意する
- 例）手洗いの実施、手袋の着用
マスク・ゴーグルの使用
エプロン・ガウンの着用
使用済器具の洗浄・消毒 等

感染経路別対策

＝発生時（拡大防止）対応

- 接触感染、飛沫感染、空気感染、血液媒介感染など、発生した（疑われる）感染症の感染経路に合った対策
- 例）インフルエンザの拡大防止を目的とした発症者の個別隔離 等

⇒ 日常的な感染対策（標準予防策）が適切に実施されていれば HIV感染者に対して、特別な対応は必要ありません！

HIV感染者の地域生活支援を目指して…

- 治療の進歩により、エイズによる死亡は劇的に減少し、HIV感染症は慢性疾患の一つとして考えられるようになりました。
- 高齢化に伴い、**介護やサービス**を必要とする患者さんが増えています。
- 治療でHIVが抑えられている患者さんは感染力も抑えられており、一般的な感染症対策がとられている施設において、特別な対応は必要ありません。
- 介護やサービス**が必要になった方の施設入所について、一般の高齢者と同じように受け入れていただけるよう、ご配慮をお願いします。

後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の改正

平成30年1月18日付け厚生労働省健康局結核感染症課長通知

【主な改正事項（抜粋）】

- 抗HIV療法は他人へHIVを感染させる危険性を減少させる。
- HIV感染者及びエイズ患者の高齢化に伴う合併症発症の危険性の増大及び療養の長期化に伴う費用負担の増加という新たな対応すべき課題が発生しているため、**長期療養の環境整備等が必要**となっている。

県の取組み

○HIV感染予防薬を地域の代表的な医療機関に配置し、周囲の施設等で感染者の血液暴露事故が発生した際に使用できるよう準備をしています。（**県内23医療機関**に配置）

○HIVの正しい知識や標準予防策等の研修会開催、拠点病院と一般診療や施設間との調整を行う**コーディネーターの配置**をしています。

研修会はWebからでも申込みができます。

<https://forms.gle/kBfxCPUXzJgEckQM6>

HIV / AIDS 出前研修

より多くの方々に研修を受けてもらう為に、HIV診療や支援に関わるエイズ拠点病院等で働くスタッフが病院や施設へ**出前研修**を行います。(状況に応じてWEBも可)



HIV/AIDSに関する基礎知識、感染対策、陽性者へのケアについて研修を行うことにより、医療機関や介護・福祉施設等におけるHIV陽性者を受け入れる際の不安を軽減し、受け皿の数を増やすことを目的としています。

対象
沖縄県内で研修を希望する以下の機関、事業所に勤務されている方（要相談）
医療機関、クリニック、保健所、訪問看護ステーション、透析施設、介護福祉施設、居宅サービス事業所、障害者福祉施設、障害者サービス事業所など

研修時間
60~90分（要相談）

講師
感染症診療ネットワークコーディネーター
エイズ治療拠点病院等のスタッフ

費用
沖縄県の事業費で実施しており、「**無料**」で受講できます。



研修内容

研修内容は、希望内容や施設の状態などに合わせて、感染症診療ネットワークコーディネーターと相談しながら調整します。

HIV医療体制	診療体制、チーム医療、拠点病院の役割
沖縄県の現状について	沖縄県のHIV患者についての現状と課題、事例など
HIV感染症について	基礎知識、HIV感染症の診断、治療、他感染症の理解
HIV検査と相談	検査内容、検査前後の対応・相談
HIV感染症と看護	セルブマネジメント支援、在宅療養支援
抗HIV薬と服薬支援	抗HIV薬について、服薬支援
HIVと社会資源	利用できる社会福祉制度、制度利用の流れ
HIVとカウンセリング	HIV陽性者の心理状況、カウンセリング
HIVと価値・倫理	人権問題、差別・偏見と啓発活動
感染予防と曝露後対応	スタンダードプリコーション、二次感染予防
HIVと妊娠出産	母子感染予防、育児希望感染者への対応
HIV予防薬配置事業について	曝露後対応マニュアル、予防薬配置医療機関

その他
●研修内容は、希望内容や施設の状態などに合わせてコーディネーターと相談しながら調整します
●HIV感染症に対する基礎知識、感染対策、陽性者へのケアについて理解することで、HIV感染者の受け入れに対する不安を軽減すること年度毎講師の調整や研修準備が必要な為、希望する日程の2ヶ月前までにご連絡ください
●研修終了後も必要に応じて、研修会の開催や不安などが解消されるまでコーディネーターが継続して支援します

**申し込み
問い合わせ先**

沖縄県感染症診療ネットワークコーディネーター 新里(しんざと)
TEL: 098-895-1144 〒903-0215 西原町上原207番地
FAX: 098-895-1414 琉球大学病院第一内科医局内

HIV/エイズに関する資料

OAPI-Net エイズ予防情報ネット

<http://api-net.jfap.or.jp/library/alliedEnt/04/index.html>

「訪問看護・介護職員向けHIV感染症対応マニュアル」

「社会福祉施設で働くみなさんへ」

「在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと」など

介護サービス事業所におけるHIV陽性者の受け入れに関するアンケートのお願い

容体の安定しているHIV感染者やエイズ患者が、介護サービスの提供を希望しても、なかなか受け入れ先が見つからないのが現状です。

今回、介護サービス事業所を対象に、HIV陽性者受け入れに関する調査を実施することとしました。お忙しいところ恐縮ではございますが、本調査へのご協力のほどよろしくお願いいたします。

回答は講習会終了後、**令和6年3月4日（月）～3月18日（月）**までに次のURL又はQRコードから、各事業所ごとにご回答いただきますようお願いいたします。

URL：<https://forms.gle/h2M5SygcM9szfUg96>

アンケート回答内容は内部資料として使用させていただきます

